



カナダ
Canada



たばこ産業の特徴

1. 販売数量は471億本(1996年)である。
2. リーディング・カンパニーはImperial社で、シェアは67%を占めている。
3. 市場はバージニア・シガレットが支配している。
4. 世界でも最も厳しい反喫煙規制がある。
5. 大規模な密輸の蔓延のために、政府は1994年2月に連邦たばこ税の減税を余儀なくされ、地方政府の州税もこれに従った。
6. たばこ製品の広告は店頭広告を除いて全て禁止されているが、店頭広告も政府は禁止しようとしている。

[1]法規制

警告文等:

1993年9月に制定された世界でも最も厳しい規制により、包かの表面積の25%に黒と白の印刷で警告文を載せる必要がある。

警告文は、「喫煙は貴方を殺す」、「シガレットは麻薬である」、「たばこの煙は貴方の子供に有害である」、「シガレットは致命的な肺ガンを引き起こす」。警告文は英語とフランス語。

包かにはN/T,CO含有量を記載必要。

喫煙場所の規制:国内線、バス、映画館、劇場では禁煙。

国際線、列車、レストラン、ホテル、カフェでの喫煙は規制されている。

公共、私設の職場では喫煙が規制されている。

いくつかの州では条例により全ての職場、ショッピングモール、バス待合室、手洗い場、建物のあらゆる共通の場所が禁煙になっている。

職場は隔離され適切な換気されている場所では認められている。

販売規制:

1994年5月1日から政府は15本未満の包かを禁止した。

政府は喫煙年齢を2年かけて18歳にしようとしており、ニューブランズウィックでは19歳にしようとしている。

広告規制:

1996年11月にカナダ政府は若者の喫煙対策として、たばこの屋外広告やテレビ、ラジオを使った広告やCMを全面禁止し、大人向けの出版物だけに限るとし、自動販売機も禁止した。

店頭広告も禁止されている。

たばこ業界は100万カナダドルを投じて未成年者の禁煙キャンペーンをしている。

[2]たばこ税

連邦税と州税と収税に分かれている。

密輸対策のために1994年2月に連邦政府は1カートン(シガレット100本)につき連邦税を5.0カナダドル引き下げ、10カナダドルにした。

各州もこれにならって10カナダドル前後にまで減税した。

その後オンタリオ州やケベック州などはたばこ税を引き上げ、たばこの値段は7%アップした。

連邦政府は同じく、1カートン当たり8カナダドル課税していた輸出税を、免税売店が破滅的な悪影響を受けてたために、施行後わずか6週間で撤廃した。

連邦政府はたばこ会社に、健康増進と減税による歳入減のバランスを取るために利益に対して40%の付加税を課税している。

[3]市場概要

トータルの製造数量580億本、

販売数量:1994年457億本,1995年456億本,1996年471億本。輸出50億本、輸入5億本('96)。

税金が高いために密輸が多く、正確にカナダのシガレットの販売数量を掴むことは困難である。

1994年のたばこの減税以前は、消費数量の10から30%が密輸製品であると思われていた。

カナダの市場はレギュラー、キングサイズ、100mmの3つのセグメントがあるが、レギュラーサイズが6%、キングサイズが35%である。

カナダ市場は特定のブランドに集中することはなく、どのブランドもシェアは20%を越えていない。

このことはうまくキャンペーンを行えばシェアを獲得できることを意味しており、広告が禁止されているメーカーは目新しいマーケティングを必要としている。

会社別、銘柄別シェア% (出典 Maxwell Report '97)

	1995	1996
Imperial社	67.1	67.0
Player's Light Regular	12.7	12.6
du Maurier King Size	9.8	9.4
du Maurier Regular	5.5	5.5
Players Light King Size	4.9	4.9
Players Filter Regular	4.6	4.4
du maurier Light K.F.	3.8	3.9
Rothmans/B&H社	20.1	19.4
Rothmans KS Filter	3.4	3.2
Craven 'A' King Size	1.9	1.8
Rothmans Spec Mild KS	1.6	1.5
Craven menthol	1.2	1.2
RJR Macdonald社	12.3	12.8
Export 'A' Regular	3.8	3.9
Export 'A' Med.R&K	3.0	3.3
Export 'A' Lights Regular	1.7	1.9
Export 'A' King Size	0.8	0.8
その他	0.5	0.8

[4]製品プロフィール

カナダ市場は次第にアメリカンブレンドが好まれるようになると期待されているにもかかわらず、圧倒的にバージニア・タイプが好まれている。

[5]消費者プロフィール

- ・ 苛酷な税制のために、1988年の620万人から1991年には600万人へと男女共に喫煙者が減っている。
- ・ 公共の場所での喫煙規制のために喫煙本数が減っている。
- ・ 価格上昇により高齢の喫煙者が喫煙を止め、若者は健康注意表示により喫煙を思いとどまっているために、全体として消費本数が減る傾向にある。

[6]たばこ製造会社

Imperial Tobacco:

1912年の設立。

BAT Industriesが株式の40%を保有しており、子会社のIMASCOが所有している。

シガレット、葉巻、パイプたばこを製造している。シェアは67%。

主要3銘柄はPlayer's, du Maurier, Matineeである。

製造工場: Montreal, Gaelph, Aylmerの3工場。

Aylmer工場は他の2工場向けの原料加工処理専用。

Aylmer工場に隣接して膨化処理工場を建設し、国内外へ供給する。

原料処理工場は新しい工場へ統合する。

Rothmans, Benson & Hedges:

1986年にPhilip Morrisのカナダの事業とRothmansが合併して出来た会社。

シガレットとパイプたばこを製造している。シェアは19.4%。

主要ブランドは Rothmans, Craven, Benson & Hedges, Dunhill 等。

製造工場: ケベック市

RJR Macdonald:

RJR Internationalのカナダ部門である。

シガレット、葉巻、パイプたばこを製造している。

シェアは12.8%。

主要ブランドは Expot "A", Vantage, Macdonald Select, Macdonald menthol, Tueros 等。

Maritime Tobacco Corporation:

プライベート・ラベルの葉巻とシガレットのメーカー。

Tabac Lepine Inc.:

細刻、パイプたばこの製造と包装、シガレット・チューブの製造をしている。

[7]小売流通と密輸問題

懲罰的な税金水準のために、アメリカ国境沿いに巨大な密輸問題が発生し、カナダ側の小売店は影響を受けて50%も売上が減った。

90年代初めには密輸品は正規の販売数量の10%を占めていたと推定される。

1994年のたばこ税の減税によりアメリカ/カナダ間の密輸は劇的に減ったが、州間の税金の格差のために州間の密輸が増えている。

オンタリオ、ケベック等の大西洋側の州がたばこの減税をした時に、西部の州はこれに従わなかったために、ケベックで1カートン220ドルのものが、西カナダでは2倍している。

[8]葉たばこ生産概要

葉たばこの品種:黄色種、ダークエアーキュアード、ダークファイヤーキュアードで、トータルの生産数量は約6万トン。

葉たばこの90%までが黄色種である。

[9]展望

1994年にたばこ税の減税が行なわれたために、販売の減少傾向に歯止めがかかっている。正規の販売を歪めている密輸が減れば、売上げ本数は伸びるものと思われる。